

「東北・新潟共同メッセージ～東北・新潟の魅力を再発見する旅に出かけよう～」を発出しました（9月7日）

東観推では、自治体や関係事業者との連携による「東北・新潟応援！絆キャンペーン～旅を楽しもう～」を7月から本格的に実施しておりますが、このたび、東北・新潟各県、仙台市、新潟市および東観推による共同メッセージを発出しました。東北・新潟のお住いの皆様に域内の魅力を再発見していただくことで、旅行の機運を醸成してまいります。

<https://www.tohokukanko.jp/business/index.html>

また、キャンペーンの特設サイトも随時情報の更新を行っています。今月は、旅行会社各社の新商品・新サイトに関する情報を中心に新規に掲載しました。情報の新規掲載・更新は常時受け付けておりますので、下記お問合せ先までお気軽にご連絡ください。

東北・新潟の皆さんへ

東北・新潟共同メッセージ

～東北・新潟の魅力を再発見する旅に出かけよう～

東北・新潟は、豊かな自然、その土地ならではの文化や歴史、温泉、美味しい食べ物、お酒など、世界に誇れる魅力に溢れている地域です。

東北・新潟では、現在、「東北・新潟応援！絆キャンペーン～旅を楽しもう～」を展開中です。

東北・新潟の皆様には、域内を知り体験することは郷土に誇りを持ち、交流の輪を大きくする機会となりますので、各自治体や国の支援制度を利用して、東北・新潟の魅力を再発見する旅に出かけましょう。

観光事業者の皆様は、ガイドラインを遵守した感染防止対策を徹底するとともに、感染防止に向けた取組を旅行者にもしっかりと情報発信し、旅行者に安心できる旅を提供いたしましょう。

令和2年9月7日



青森県知事 三村 伸吾



岩手県知事 連島 拓也



宮城県知事 村井 嘉浩



秋田県知事 佐竹 敬久



山形県知事 吉村美栄子



福島県知事 内堀 雅雄



新潟県知事 花角 英世



仙台市長 郡 和子



新潟市長 中原 八一



一般社団法人東北観光推進機構
会長 松木 茂

東北・新潟応援!
絆キャンペーン
～旅を楽しもう～



東北・新潟応援!
絆キャンペーン
～旅を楽しもう～



安心して旅を楽しもう!

Enjoy traveling with peace of mind!



ご協力ををお願いします。

Thank you for your cooperation.

東北・新潟応援!
絆キャンペーン
～旅を楽しもう～



動画の閲覧と、SNS等での拡散をお願いします。

特設サイト <https://www.tohokukanko.jp/kizuna>

くお問い合わせ先> 事業推進部 菅野・本多 022-721-1291
suishin@tohokutourism.jp



【ポスター】

※上記ポスターデータは
キャンペーン特設サイトから
ダウンロード可能です。

地域の魅力的な観光コンテンツ、着地型の旅行商品等がありましたら、絆キャンペーン特設サイトで情報発信させていただきますので、ぜひご連絡ください。他にも「着地コンテンツ商談会」（11月頃開催予定）や、既に開設済の「東北デスティネーションキャンペーン（DC）」「オンラインマッチングサイト」など、様々な機会や手段を通じて、地域の魅力的なコンテンツをセールスすることができます。皆様からのご連絡をお待ちしております！

Go To トラベルキャンペーン「地域共通クーポン」10月1日以降出発分より開始されます

「地域共通クーポン」について、10月1日以降に出発する旅行からクーポン券の利用開始となることが発表され、事業者向けにオンラインや各県での説明会が開催されています。説明会の開催情報や「よくある質問」など、頻繁に更新されていますので、随時サイトのご確認をお願いいたします。

事業者向けサイト <https://biz.goto.jata-net.or.jp>

旅行者向けサイト <https://goto.jata-net.or.jp>

広域行政観光推進会議を開催しました（2020年8月6日）

岩手県花巻市の花巻温泉ホテル千秋閣にて、東北6県、新潟県、仙台市の観光担当部局長クラスの方々と会議を開催しました。「東北・新潟応援！絆キャンペーン」の概要、海外誘客事業の現状と今後の取組方針、「東北デスティネーションキャンペーン（DC）」の進捗状況、域内DMO訪問の実施結果及び第5期中期計画（骨子案）について意見交換を行いました。



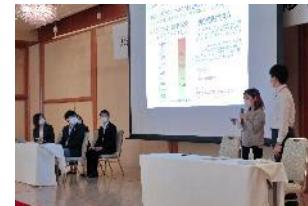
【会議の様子】

第四期フェニックス塾修了発表会及び修了式を行いました（2020年8月4日）

宮城県松島町のホテル大観荘において、第四期フェニックス塾の修了発表会・修了式を開催しました。

修了発表会では、塾生がワークショップで議論を交わしてきた成果として、「東北に更にインバウンドを増やすため」の提言を各グループから発表しました。その後塾生一人一人から、フェニックス塾を通して得たこと、今後の抱負などについてスピーチを行いました。東北運輸局、東北経済産業局、各県など行政の方や、塾生の出身団体の上司、またフェニックス塾一期生～三期生へご案内し、32名の関係者に出席いただきました。修了式においては、松木会長と来賓二名の方から塾生への期待を込めた挨拶があり、その後、会長から塾生一人一人へ修了証書を授与しました。

今後、一期から四期まで計149名となるフェニックス塾生によるネットワーク強化、および9月より開講する第五期フェニックス塾など、引き続き観光人材育成に取り組んでまいります。



【各グループ発表】



【塾生スピーチ】



【修了証書授与】



【フェニックス塾第四期生】

宮城県松島高等学校で観光に関する講義を行いました（2020年8月3日、4日）

宮城県松島高等学校観光科にて、東観推による「東北の広域観光について」の講義を行いました。松島高校では、松島にお越しになる学校等のガイドをされていますが、これを機会に「東北」を広い視野で学び、今後の学習やガイドに繋げたいとのご要望を受け、実施したものです。東観推からは、「東北を広域で発信する重要性」や「東北各地の魅力的なコンテンツ」、2021年4月から始まる「東北DC」との連携、「今後の挑戦」等について、お伝えしました。



【講義の様子】

一関観光協会主催セミナーで紺野専務が講演しました（2020年8月21日）

岩手県一関市のベリーノホテル一関にて開かれた、一関観光協会主催の「Withコロナ対策観光客おもてなしセミナー」にて、紺野専務が「東北観光の活性化について～withコロナ禍での東北観光の動向と方向性～」と題して講演を行いました。現在展開中の「東北・新潟応援！絆キャンペーン」や2021年4月からの「東北DC」など、東北観光の活性化についてお話ししました。



【講演の様子】

北東北DMO連携会議に出席しました（2020年8月28日）

秋田県小坂町の康楽館にて開催された第4回北東北DMO連携会議に出席しました。JNTO・東北運輸局・北東北3県から9つのDMOが参加し、JNTOからは「インバウンド観光の見通し」として、今後のプロモーション再開に向けた説明があり、また各DMOからはこれまでの新型コロナウィルス対策や今後の方針に関する発表がありました。東観推からは、澤田本部長代理より「東北・新潟応援！絆キャンペーン」の動画を紹介しつつ東北域内の活性化に向けた東観推の取組みについて説明を行いました。

午後は今回会場となった康楽館の舞台裏や小坂鉱山事務所を視察しました。



【会議の様子】

他エリアの広域連携DMOと意見交換を行いました（2020年8月3日、26日）

東北域内の広域連携を推進するにあたり、広域連携DMOである「中央日本総合観光機構（名古屋市）」及び「九州観光推進機構（福岡市）」と意見交換会を実施しました。

広域連携DMOと域内関係者（自治体、DMO、民間等）との「役割分担」をはじめ、「マーケティング」「プロモーション」「受入環境整備」等、幅広いテーマについて、取組事例や課題を共有し議論を深めました。

○8月3日（一社）中央日本総合観光機構様の御来訪

○8月26日（一社）九州観光推進機構様への訪問

香港メディアによる東北取材が行われました（2020年8月24～28日）

香港市場の訪日関心層をターゲットに、日本において新型コロナウィルスの感染者が少なく、雄大な自然と温泉でリフレッシュできる「安全・安心な癒し旅」が楽しめるエリアとして東北を発信して、更なる認知度向上・誘客促進を図るため、在日香港メディア（1名）の招請を行い、主にグリーンシーズンの北東北を取材いただきました。

全日ともに天候に恵まれ、絶好の取材日和となりました。香港は、日本が故郷というくらい訪日リピーターが多い市場ですが、当面の間感染リスクの高い首都圏は行きづらいと思うので、密を想起させない観光資源を持つ東北地域はPRアドバンテージがあると評価いただきました。

また、各宿泊施設の感染防止対策も取材いただき、個室の夕食サービスや大浴場の混雑状況がスマートフォンのから確認できるシステムにとても関心を示していました。



【奥入瀬溪流】



【八幡平アスピーテライン】

イギリスメディアによる「みちのく潮風トレイル」取材が行われました（2020年8月26日～28日）

英国市場の訪日関心層をターゲットに首都圏からの快適なアクセスや東北固有の手つかずの自然景観といった「本物の日本」が体験できるエリアとして東北を発信するため、在日のイギリスメディア（群馬県藤岡市）2名を招請し、青森県八戸市から宮城県女川町の間で「みちのく潮風トレイル」の取材をしていただきました。

招請の3日間は天気にも恵まれ、ドローン等も用いながら、太平洋側海岸線のさまざまな風景を撮影いただきました。

招請前の想定としては、「震災後10年経た東北海岸線」という話題性で記事を作成いただく想定でしたが、そのような話題性が不要なほど、様々な風景を有する「みちのく潮風トレイル」コースのポテンシャルは高いことを評価いただきました。

今回取材いただいた内容はYouTubeに掲載予定です。



【葦毛崎展望台付近】



【山田湾養殖いかだ見学】

台湾TTE台北国際観光博覧会JNTOブースに出展しました（2020年8月28日～31日）

台湾現地で開催されたTTE台北国際観光博覧会のJNTO日本ブースにて、東北観光をPRするパンフレットの配布や、東北の魅力を伝える美しい動画を放送し、東北のプロモーションを展開しました。

今後、10月に台湾現地で開催されるATTAA台中国際旅展でもJNTO日本ブースにてパンフレットの配布やPR動画の放送、ステージイベント等を展開し、コロナ禍からの早期脱却に向け、東北観光のプロモーションを最大限展開してまいります。



台湾の旅行会社との2回目のオンライン会議を行いました（2020年8月18日）

WEB会議ツールを活用して台湾の現地旅行会社4社と2回目の情報交換会を実施し、東観推からは東北が「密」ではない状況にあることや、感染防止対策等について説明しました。

現地旅行会社からは、「東北が関東や関西等と比較して「密」ではないという情報はPRポイントだと思う」「単県でのプロモーションではなく、日本東北遊楽日のように東北一体でのプロモーションが効果的だと思う」「東北の強みである桜、紅葉、樹氷を強調してもっとPRが必要だと思う」等といった声が寄せられました。また、第1回目のオンライン会議の様子が台湾の旅行業界誌「旅報」に掲載されました。

今後も引き続き意見交換会を実施するとともに、収集した情報を各種事業へ反映させ、より確度の高い事業を展開してまいります。



【旅行業界誌へ掲載された第1回オンライン会議の様子】

タイ旅行業協会（TTAA）スティポン新会長とのWEBミーティングを行いました（2020年8月24日）

日タイ間の出入国制限が継続し、観光客の往来再開の見通しがなかなか立たない中、今後のタイにおける東北プロモーションについて意見交換するとともに、協力関係の強化を図るため、タイ旅行業協会（TTAA）の会長に8月に新たに就任したスティポン・プアンピポップ氏とWEBミーティングを実施しました。

スティポン会長からは、年明けに開催されるタイ国際旅行博覧会についての情報提供をいただいたほか、東観推が現地で計画しているセミナー等のプロモーションにTTAAからもご協力いただけるとのお話をいただきました。

今後も現地の協力団体と連携してコロナ下でも可能なプロモーションを進めています。



【WEBミーティングの様子】

多言語電話通訳サービス

外国人旅行者とうまくコミュニケーションが取れない場合などに、コールセンターのオペレーターが電話を介して通訳を行うサービスです。

【対象】東北6県および新潟県の観光関係事業者
※ただし、大型小売店、医療機関は対象外

【対応言語】日本語↔英語・中国語・韓国語

【利用時間】24時間365日対応

【利用料金】無料 ※ただし、通話料金は利用者負担

【サービス受託事業者】株式会社テレコメディア

【申込】お電話またはFAXでお問い合わせください。

申込書をお送りします。



「旅東北NEWS」VOL.024 2020年9月10日発行

【発行】一般社団法人東北観光推進機構

仙台市青葉区一番町2-2-13仙建ビル8階

【TEL】022-721-1291 【FAX】022-721-1293

【Email】info-ttfo@tohokutourism.jp

「東北観光推進機構」公式Facebook

東北6県・新潟県の旬の観光情報を配信中！

<https://www.facebook.com/tohokukanko/>

「いいね」「シェア」をよろしくお願いします！